

クレー射撃の十勝大会で優勝

4月20日



4月20日、帯広国際射撃場にて、第35回獣友会全十勝支部対抗の安全狩獵クレー射撃大会が行われました。

クレー射撃は、クレーと呼ばれる直径15センチほどの土製の円盤を空中に射出し、それを撃ち抜く競技です。

本町からは2チームと個人戦に出場し、団体Aチームが7年ぶりに優勝しました。チームは川原久典さん、篠原公一さん、曾我忠文さん、瀧村智典さん、瀧村憲史さんで構成され、篠原さんは「日頃の練習の成果でチーム一丸となり、集中して大會に臨めた」と優勝の要因を話してくれました。

幼年消防クラブ任命式

4月22日



上士幌保育所にて「平成26年度かみしほろ幼年消防クラブ任命式」が行われました。
幼年消防クラブとは、保育園・幼稚園の児童を対象にした防火団体で、楽しさの中から「火遊びの怖さ」を知ることを目的に組織されています。町内の各団体から贈られた法被や鉢巻に身を包んだ子どもたちは、上士幌消防署長より任命証を受け取ると、元気よく防火・防災に取り組むことを宣言しました。

糠平小で交通安全教室

5月7日



糠平小学校で交通安全教室が開かれ、参加した児童6名が交通ルールを学びました。

教室では、糠平駐在所の警察官や町職員が、横断歩道の安全な渡り方や交差点での注意点、正しい自転車の乗り方などを指導しました。

参加した生徒からは「自転車に乗っているとき、ふらつかないように」と注意を受けた。今後は教えてもらったとおり、ふらつかないで乗れるように気をつけたい」との声が聞かれました。

とかち青空レディ来庁

5月9日



第20代とかち青空レディの藤原幸奈さん(写真右端)と加藤かおりさん(同左端)が役場を訪れ、竹中町長を表敬訪問しました。

とかち青空レディは十勝管内の観光と物産をPRするため、道内外のイベント出演やキャンペーンなどの活動を行っています。

この日は、ほろんちゃんも登場し、お二人とともに十勝の観光を盛り上げていました。

新しい土曜学習がスタート

今年度より、教育委員会主催の新規土曜学習推進事業が始まりました。土曜日でも、子どもたちが“楽しく学び”ながら基礎的な学力を身につけられるように学習、体験活動等の各種教室を開催しています。

4月19日の英語活動(写真右)には32名、5月10日の「空気のふしぎ」をテーマにしたサイエンス(写真左)には40名の子どもたちが参加し、楽しく学びました。



▲手作りの空気砲で実験をする1～6年生



▲高学年(4～6年生)の部の様子

4・5月のまちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 02-2111 内線265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

5月11日

9区町内会で土のうづくり体験



9区町内会の約50名が、自主防災活動の一環として、土のうづくりとその積み方について学びました。冒頭、講師にあたった町及び消防職員から「本町においても、豪雨などによる水害が年に数回発生しています。自主防災組織がその地域の水害をいち早く防ぐことにより、被害を最小限に防ぐことができま

す」との話がありました。まず、指導を受けながら土のうを二人一組になって作成、その後、9区北側のサックシユオルベツ川が氾濫したとの想定のもと、土のうの積み方を学びました。実際に体験した参加者は「土のうはすごく重い。こうして実際に体験しないとわからないことでした。これから、みんなで協力しあっていきたい」と話されていました。

5月12日

ぬかびら源泉郷でクリーン作戦

ぬかびら源泉郷でクリーン作戦が実施されました。この日は、町内会のみなさんと町職員、国道の道路保全を請け負う川村組の社員ら約60名が参加し、温泉街の清掃美化活動を行いました。

参加者は3班に分かれ、ぬかびら市街地（中央公園及びスキー場周辺）のほか、五の沢地区、黒石平地区

を手分けして回り、資源ごみ約百袋とトラック約2台分の落ち葉を拾いました。

参加者からは「昨年よりごみの量は減ったが、今年も不法投棄らしき粗大ごみがみつかり残念に思う。今後も地道に清掃活動を続け、ぬかびらの美しい自然景観を保っていきたい」との声が聞かれました。

5月15日

認定こども園建設工事安全祈願祭

認定こども園建設工事

着工にかかる安全祈願祭が、建設予定地である上士幌保育所グラウンドにて行われました。



神事には、竹中町長をはじめ、町議員及び工事

関係者など、合計約40名

が列席し、くわ入れや玉串奉籠などを執り行いました。

直会の儀では、竹中町長が「工事期間中の無事

故、安全をお祈りしたい」と挨拶。また、杉山議長は「認定こども園建設は、町の活性化のため議会としても大変期待をしている施策であり、ぜひ良い施設を造つていただきたい」と話されました。

第43回ハイスクールジャパンカップソフトテニス2014南・北北海道ブロック予選大会(4月12日・13日、旭川市)に出場した上士幌高校ソフトテニス部の塩田文香さん(上高2年)と、第30回北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会(5月17日・18日、美深町)への出場が決まった上士幌トランポリンクラブの竹内愛詩さん(上小4年)が、それぞれ馬場教育長を表敬訪問しました。



▲「決勝に残りたい」と意気込みを語った竹内さん(中央)。右は指導者の鵜澤和郎さん



▲道大会の出場報告を行った塩田さん(中央右)。右端が上高の渋川誠人校長、左端が大会へ引率した島崎洋介教諭

塩田さんと竹内さんが馬場教育長を表敬訪問

《ソフトテニス》

《トランポリン》

地域を変えてく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: ぬかびらの春

記: 観光振興推進員 木村 健太郎



町民のみなさん、連休中はいかがお過ごしましたか。

ゴールデンウィーク中は天候にも恵まれて、私の勤務する「ひがし大雪自然館」にもたくさんのお客さまが来館されました。中には展示内容をじっくりと見学され半日近く滞在された方や、旭川から自転車で来られた方など連日賑わいました。

連休中に上士幌の街中の桜は咲いていたようですが、ぬかびらではウペペサンケ山の頂上付近で吹雪いているのが見え、また夜には氷点下になる日もあり、改めて町内は広いなあと感じています。

連休が明けると自然館の周りの森も大分春めいてきて、冬はひつそりとしていた生命が急に騒がしくなってきました。朝には小鳥たちがうるさいくらいで起こされます。目覚めたついでに森の中を散歩していると、昨日まで大きな水たまりにあったカエルの卵が、翌日なると日中の暖かな陽気で一斉に孵化大変驚きました。忙しいのは人間だけじゃないみたいです。

自然館では5月の土日、野鳥の観察会を行っています。また、「ひがし大雪の鳥」と題して、この辺りで見られる鳥のはく製の特別展を行っています。特別鳥類が好きでない方でもきっと楽しめる可愛い展示になってますので、ぜひお越しください！



▲GW中お客様まで賑わう自然館



▲特別展「ひがし大雪の鳥」

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲交流を深め、仲良く食事をする生徒たち

4月20日(日)～22日(火)にかけてネイパル足寄で「宿泊研修」が行われました。今回の宿泊研修では団体行動を目標に、生徒たちは積極的に行動し無事研修を終えることができました。

研修では大縄跳びやクラス対抗校歌合唱などが行われました。大縄跳びでは、初めはクラス内でいざこざが起きることもありましたが、最後はみなが協力し合い上手

に飛びることができました。校歌合唱では最初は男女ともに声が小さく、あまり良い合唱をすることはできませんでしたが、次第に大きな声を出すことができるようになりました。最終日の合唱対決ではA組の勝利という結果になりましたが、両者劣らぬ歌声を發揮できました。

木村凌也くん(1B)は「最初は話しても大丈夫かなととても不安に思いましたが、終わってみると今まであまり交流を出来なかった人とも交流を深められたので良かったです」と笑顔で話してくれました。

4月20日(日)～22日(火)

交流深め、団結力アップ

文責 岩間 輝

平成26年 4月末現在の人口	
男	2,415人(-3)
女	2,543人(-14)
人口	4,958人(-17)
世帯数	2,342世帯(+4)

寄付

▶帯広市の三島清志さんは、4月21日に土地(宅地)を寄付されました。

▶札幌市の山中勇治さんは、4月22日に町の振興資金として金5万円を寄付されました。

▶千葉県柏市の岩立秀子さんは、5月15日に町の通信費として、26,460円分の切手を寄付されました。

ふるさと納税寄付金

平成26年度 4月分

1,418件
23,712,000円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

- | | |
|---------|--|
| 上士幌町民憲章 | 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になります。
1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。 |
|---------|--|

川柳

失敗も成功もあるさをり織り
賃金をもらう喜び草を取る
連休をミニカ相手にあそんでる
休みでも畠仕事で豆をまく
初めてのドームで日ハム応援し
とりあえず納戸に押し込み十年間
ハラハラと散る花びらは我が心
管外のナンバーずらり幸福駅
九条の岩盤に引く導火線

韓国の方ちははかなし目の前の海に沈みし船を見守る
積雪のとけし花壇の枯れし葉を除けば出でしかたつむりの子
日だまりに老いの身おきて膝さするビタミンDの補給よしを聞く
病院勤務を実地に学びて研修をと日野原先生の言葉に孫思う
ふかぶかと蒲団かむりて妻泣けりしろき額よたゞ見守るのみ
ふつ切れぬ思ひの一ついまもなをおもい至ればこだわりになる

短歌

白坂 桜 齋 米 小 高 米 鈴	本 高 石
石田 藤 森 松 木 森 木	間 木 川
いさ 花 敦 博 義 誠 真	栄 慶 裕
馨 子 絵 子 樹 美 也 弓 豊	風 子 子



編集後記

- 4年に1度の祭典サッカーW杯が6月12日に開幕します。
- 日本代表の活躍に大いに期待するところですが、わが町でもいよいよ運動会シーズン到来。こちらも見逃せません。ご家族がいる方はもちろん、お知り合いがない方でもきっと楽しめるはず。ぜひ応援にいらしてください。・・・S
- 各町内会のみなさんが集まる行事の一つに、花見があります。●これまで、花見に合わせて、環境美化活動を行うところはありましたが、最近では、防災訓練として、土のう作製訓練や消火器使用訓練を行う町内会も増えてきています。●災害は、いつ起こるかわからないので、日頃から防災意識を高めていることがとても大切です。・・・K